

### 仏眼仏母像(仏眼仏母の像)

仏眼仏母(サンスクリット語：Buddhalocana)は、過去・現在・未来のすべての仏の母とされる菩薩である。白衣に獅子冠を戴き、蓮華の上に坐す彼女の姿が描かれている。一番上には明恵(1173-1232年)によって書かれた詩がある。

少年の頃に両親を亡くした明恵は、仏眼仏母を母親像として捉えていた。24歳の時、彼は仏道への信心から仏眼仏母像の前にひざまずいて自らの右耳の一部を切り落とした。